

# 学生担当者報11

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 茶谷良佐 編集責任者 / 辻 雄二郎

TEL 0743-63-1511(内線5817)、直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780  
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp>



先日ネット  
ニュースで、  
コロナ禍にあ  
りながらも創  
意工夫をこなし、営業を続けている飲  
食店の記事があった。そこでは店主の  
長年の経験から現状改善すべきことを  
明確にし、今までの良さを残しながら  
も営業を続けられていた。そんなニュース  
のコメントに「継続は力なり」と  
の書き込みを目にし、本期委員会の初  
め、部員・本スタ報の委員紹介で座右  
の銘に「継続は力なり」と書き込んだ  
ことを思い出した。

私とこの格言の出合いは小学校卒業  
の際、部活で頂いた寄せ書きにコーチ  
が書いてくださったことにある。尊敬  
していた恩師から頂いたこともあり、  
とても嬉しかったことを今も覚えてい  
ます。

担当者報 Vol.405  
立教183年  
2020年  
10月25日発行

## 継続は力なり

庶務会計部兼人材育成部 委員  
高井 義誠

る。その時から、私の心の深くにこの  
格言がある。ただ、当時はこの格言の  
意味を、単純に「何かを続けていくこ  
とは自分の力になる」と思っていた。  
物事にやる気が起きない時、とりあえ  
ずやるだけやつておけば、少なくとも  
プラスになると考えて過ごしていた。  
あるとき、ふとこの格言をネット検  
索したところ、そこに込められた意味  
の深さを知った。解説はさまざまであ  
つたが、共通するところは、物事をた  
だ漫然と継続することを良しとせず、  
継続の中で、目標にたどり着くため必  
要なこと、変えるべきことを考え、創  
意工夫をこなし、自分を変えていく努  
力を継続する。その継続こそが自分の  
力となるとあった。これは当時の私の  
考え方には大きな変化をもたらした出来  
事であった。

今、世の中は、コロナ禍を乗り越え  
ようとしている。イベント等は、中  
止一辺倒だったものが、工夫しての再  
開、またはそれを目指すように変化し  
てきている。生活も自粛の繰り返しだ  
ったものが、新しい生活様式を考え動  
きだしている。お道を信仰する者だけ  
でなく、日本中・世界中でこの大節か  
ら少しでも前に向こうとしているよう  
に感じる。私の周りでも、今できるこ  
とを始めようと動きだしている。私自  
身も、学生担当委員会委員として、学  
生に深く関われる機会を頂いた今、た  
だ漫然と日々を過ごすのではなく、や  
るべき事の何を残し、何を変えるべき  
な何かを見定め、その努力をしっかりと  
継続していくたいと思う。

## 学生担当者報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中  
止とさせていただきます。  
※教区・直属委員長面談（11月13日・25日、  
28日・29日）は、実施いたします。

報 告

学生層育成者講習会  
日程・会場案内

【直属】  
・西陣

11月23日10時～  
大教会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
「九月例会」は中止といたしました。

10月6日25日  
9日28日  
11日25日

学生連絡会  
まなびばチーム会議  
勉強会チーム会議  
人材育成部部会  
編集部部会

12月13日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
担当者活動部部会  
編集部部会

新刊本会議  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

13日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

14日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

15日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

16日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

17日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

18日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

19日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

20日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

21日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

22日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

23日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

24日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

25日  
委員会  
春の学生おぢばがえり  
プロジェクトチーム会議  
担当者活動部部会  
編集部部会

立教183年10月25日

お知らせ

業務記録

〔立教183年9月16日～10月15日〕

事務局連絡会

担当者報チーム会議

担当者活動部部会

学修部部会

人材育成部部会

web  
**Happist**

<https://happist.net>



令和2年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

**最新の記事が見やすく!**

レイアウトを一新し、学べる・楽しめる投稿を項目ごとに一覧で見やすくしました!

**Happistフォト**

Happistカメラマンが撮った素敵な写真を行事ごとにフォトギャラリーにして掲載します。

**“Web Happist”がリニューアルしました!**

スマホでQRコードを読み取る  
または、検索する ハッピスト

**教えが学べる!**

先生先輩方のちょっとだけいい話や教理を学べるコーナーが充実! お道の言葉からそれぞれ関連記事を読みこも出来ます。

**学生会紹介ページ**

教区・直属の学生会での活動内容や取り組みを特集しています。あなたの教区や直属学生会もぜひ紹介してください!

**担当者の皆さまのご要望にお応えして**

**学生に手配りできる  
リーフレットを発刊します!!**

はっぴすと のっと ねっと  
**HAPPIST [NOT] NET**

令和2年10月より 毎月25日発行

見開きのページには読み物を掲載☆

なんと 無料!!  
A5版  
4ページ  
カラー◎

**十月例会 委員長挨拶に代えて**

本日より、年内五回に分けて行う教区・直属委員長面談が始まりました。学生担当委員としての務めを真柱様のお言葉より思案いたしましたと、学生会活動を支援し、もり立てるとともに、学生たちがよう、ぱくとして成人するよう導き育てるという世話を取りにあります。それには、まず相手がいるので、やはり学生たちと接点を持つ行動が必要不可欠なことであります。面談では、日常からいかに学生たちを気に掛け、働き掛け、そして直接声を掛けているのか丹精について意見交換していきたいと思います。面談参加時期には時差がありますが、以上のことをお含みおきいただきたいと思います。

また、本日よりWeb「Happist」が内容もデザインも一段とパワーアップしてリニューアルされました。さらにはリニューアルに伴い、声を掛ける一助としてWeb「Happist」のリーフレット『HAPPIST [NOT] NET』を発行しました。このリーフレットは、これまでの紙媒体よりもさらに手配り性を高めたもので、QRコードでスマートフォンで簡単にアクセスでき、また、QRコードを読み取ることでスマートフォン版のHappistを直接起動することができるなど、利便性が大幅に向上したものです。

もう一点、来春の学生生徒修養会大学の部と高校卒業生コースについては、コロナウイルスの現状を鑑みて中止とさせていただきました。ですが、大学卒業生を対象にした行事を開催いたします。「大学卒業生の集いJOYOUS STYLE（ジョイアススタイル）」の要項を配布させていただきましたので、確認いたしました。期日までにお申込みください。また、「立教百八十四年 春の学生おぢばがえり」については、従来の形態での開催は見合わせることになりました。詳細は来月発表いたしますが、方向性としては、団体ごとの「道の駅」が運営する「立教百八十四年 春の学生おぢばがえり」とお聞きしました。「これはすぐに定員に達する」と思い、すぐに高校3年生がおられる教會に連絡をしました。「早くしないと定員に達します」ということを強調しつつ、結果、十二月中には定員がいっぱいになりました。当日の受講者数は百名ちょっととだつたと思いますが、生駒からは最多タイの五名が受講してくれました。手前みそで恐縮ですが、生駒が全教でトップになることはほとんどないので、大教會長様に少しは喜んでいたに達します」ということを強調しつつ、

昨年の一月まで十二年間、直属の学担の委員長を務めさせていただきましたが、今思うと、何をしていたのかと反省の思いばかりです。そんな中、「これは少しは」と思うことを一つ。立教一七八年に学修の「高校卒業生コース」が始まりました。前年十一月の学生担当者大会でその発表があり「定員が百名」、また「おじば管内の高校卒業生も参加できる」とお聞きしました。「これはすぐに定員に達する」と思い、すぐに高校3年生がおられる教會に連絡をしました。「早くしないと定員に達します」ということを強調しつつ、結果、十二月中には定員がいっぱいになりました。当日の受講者数は百名ちょっととだつたと思いますが、生駒からは最多タイの五名が受講してくれました。手前みそで恐縮ですが、生駒が全教でトップになることはほとんどないので、大教會長様に少しは喜んでいたに達したかと勝手に思っています。なかなか動きが鈍い自分ですが、あの時のように動けるよう、できるだけ努めさせていただきたいと、今回の原稿の依頼を受けて文を考える中に、改めて思わせていただきます。今は新型コロナウイルスで学生会も大変な中ですが、担当者の皆さまには、学生さんのサポートを今まで以上にお願い申し上げます。私も陰ながら努めさせていただきます。

委員長 茶谷 良佐

P.I.S.T「NOT」NETを発行しましたので大いに活用いただきたいと思います。

昨年の一月まで十二年間、直属の学担の委員長を務めさせていただきましたが、今思うと、何をしていたのかと反省の思いばかりです。そんな中、「これは少しは」と思うことを一つ。立教一七八年に学修の「高校卒業生コース」が始まりました。前年十一月の学生担当者大会でその発表があり「定員が百名」、また「おじば管内の高校卒業生も参加できる」とお聞きしました。「これはすぐに定員に達する」と思い、すぐに高校3年生がおられる教會に連絡をしました。「早くしないと定員に達します」ということを強調しつつ、結果、十二月中には定員がいっぱいになりました。当日の受講者数は百名ちょっととだつたと思いますが、生駒からは最多タイの五名が受講してくれました。手前みそで恐縮ですが、生駒が全教でトップになることはほとんどないので、大教會長様に少しは喜んでいたに達します」ということを強調しつつ、

青空